

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 30 日

新潟市長様

提出者

住所 新潟県新潟市中央区南笹口2-6-31

氏名 三井ホーム北新越株式会社
代表取締役社長 中野 惣司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-241-3124

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井ホーム北新越株式会社
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区南笹口2-6-31
計画期間	2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	494,497万円
③ 従業員数	121名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類 再生処理業者へ委託 → 建設業者等へ売却 処理業者へ委託 → 埋立処分・金属くず 処理業者へ委託 → 電炉メーカーへ売却、処理業者内でリサイクル・ガラス及び陶磁器くず 処理業者へ委託 → リサイクル、埋立処分・紙くず 処理業者へ委託 → リサイクル、埋立処分・繊維くず 処理業者へ委託 → リサイクル、埋立処分・廃プラスチック 処理業者へ委託 → リサイクル、埋立処分・廃石膏ボード 処理業者へ委託 → リサイクル、埋立処分・木くず 処理業者へ委託 → 木材チップとして再資源化、埋立処分・石綿含有産業廃棄物 処理業者へ委託 → 埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物管理責任者	三井ホーム(株)建設事業推進部長	: 産業廃棄物に関する業務の責任者として、三井ホーム部・支店及びF C会社の業務遂行の指揮・管理をする。
廃棄物処理統括責任者	三井ホーム北新越(株)技術部長	: 廃棄物処理に関するF C会社の最高責任者として部下を指揮・監督し、業務遂行を統括する。
廃棄物処理責任者	三井ホーム北新越(株)技術部長代理	: 部下を指揮・監督し、廃棄物処理に関する業務を遂行する。
廃棄物処理担当者	三井ホーム北新越(株)工事担当	: 廃棄物処理責任者の命を受け、廃棄物処理に関する業務を遂行する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (2023年度) 実績】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排出量	396.48 t	94.12 t	122.71 t	50.77 t	59.55 t	227.04 t	0.36 t	62.01 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
排出量	4.91 t	39.80 t	11.62 t	0.00 t	0.00 t	1.06 t		
(これまでに実施した取組)								
1) 屋根材・断熱材プレカット化を図り、現場での加工を出来るだけ削減することにより、現場排出量を抑制した。 2) 部資材ロット単位や拾い基準の見直しによる排出量の削減を推進した。								
【目標】								
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排出量	357.00 t	85.00 t	110.00 t	46.00 t	54.00 t	204.00 t	0.30 t	56.00 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
排出量	4.40 t	36.00 t	10.00 t	0.00 t	0.00 t	0.90 t		
(今後実施する予定の計画)								
1) 部資材の拾い基準の見直しによる現場での搬出量削減を推進し、資材発注の段階で余剰材・不必要な材料を入れる事の無いように搬入資材の内容確認を徹底する。 2) 現場での製作・加工を削減出来るように更なる工場製作箇所の提案・推進する事で現場での排出量の低減を図る。								

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
①現状	1) 新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分別し排出するよう、関係各位への指導・徹底を行った。 <ラック排出>①廃石膏ボード②燃えないもの(廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器・コンクリートガラ他)③燃えるもの(木くず・紙くず) <トンバック排出>段ボール 2) 解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順の遵守、分別排出の推進を指導した。 また、特定品目の再資源化施設への処理委託を推進した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1) 新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分別し排出するよう、関係各位への再指導・徹底を行う。 <ラック排出>①廃石膏ボード②燃えないもの(廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器・コンクリートガラ他)③燃えるもの(木くず・紙くず) <トンバック排出>段ボール 2) 解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順の遵守、分別排出の推進を徹底していく。 また、特定品目の再資源化施設への処理委託を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (2023 年度) 実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまで実施した取組)									
実施なし									

②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (2023 年度) 実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまで実施した取組)									
実施なし									

②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)								
実施なし									
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の計画)								
実施予定なし									

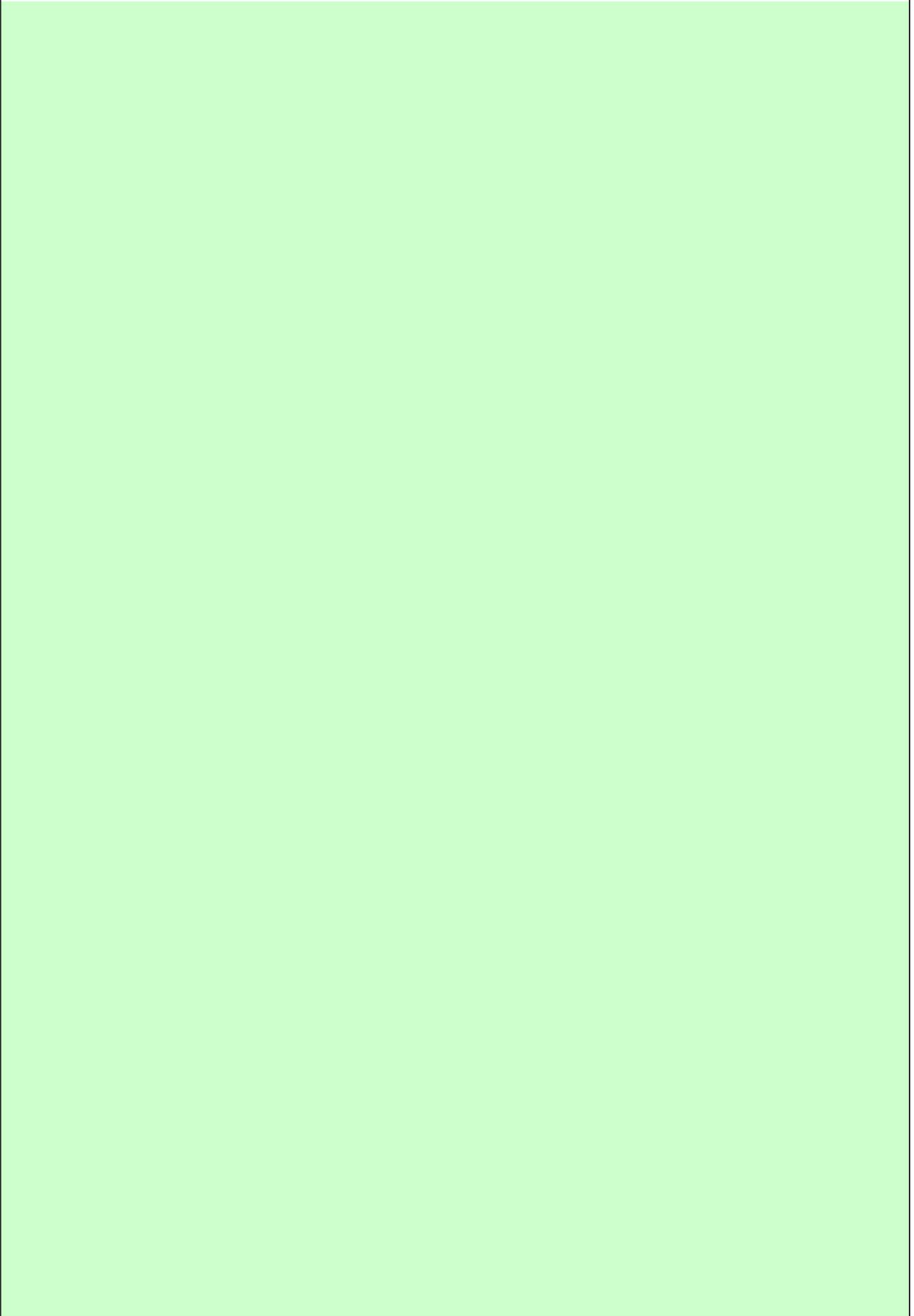
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	396.48 t	94.12 t	122.71 t	50.77 t	59.55 t	227.04 t	0.36 t	62.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	82.43 t	90.92 t	111.58 t	47.46 t	57.66 t	158.40 t	0.36 t	61.02 t	
再生利用業者への処理委託量	386.84 t	62.72 t	119.31 t	50.77 t	59.55 t	227.04 t	0.36 t	54.52 t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
② 計画	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)		
	全処理委託量	4.91 t	39.80 t	11.62 t	0.00 t	0.00 t	1.06 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.91 t	39.80 t	4.62 t	0.00 t	0.00 t	1.06 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	4.82 t	38.31 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1.06 t	t	t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
1) 産業廃棄物の処理は、委託契約を締結した収集運搬業者と処理処分業者のみに委託することを徹底している。 2) 廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの処理の工程を把握するため廃棄物処理体制表を作成。処理ルートの変更があった場合は委託契約の変更等、必要な手続きを速やかに行った。 3) 廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。 4) 新築系においては最低限の分別を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進した。 5) 委託契約先処理施設の現地確認を行い、委託に適する業者か否か確認した。									

【目標】									
① 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	357.00 t	85.00 t	110.00 t	46.00 t	54.00 t	204.00 t	0.30 t	56.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)			
全処理委託量	4.40 t	36.00 t	10.00 t	0.00 t	0.00 t	0.90 t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)									
<p>1) 産業廃棄物の処理は、委託契約を締結した収集運搬業者と処理処分業者のみに委託することを徹底する。</p> <p>2) 廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの処理の工程を把握するため廃棄物処理体制表を作成。処理ルートの変更があった場合は委託契約の変更等、必要な手続きを速やかに行う。</p> <p>3) 電子マニフェストの定着により、処理ルートの指定、最終処分までの確認を着実に進行。</p> <p>4) 新築系においてはできる限り袋詰め分別を推奨し、解体系においては現場での分別排出(解体)及び再資源化施設での処理委託を推進する。</p> <p>5) 委託契約先処理施設の現地確認を行い、委託に適する業者か否か確認する。</p>									
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	三井ホーム北新越株式会社 代表取締役社長 中野 惣司	提出者の住所	新潟県新潟市中央区南笹口2-6-31
事業場の名称	三井ホーム北新越株式会社	事業場の所在地	新潟県新潟市中央区南笹口2-6-31
内容年度	2024 年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
がれき類	現状	396.48					396.48	82.43	386.84		
	計画	357.00					357.00				
ガラスくず・陶磁器くず	現状	94.12					94.12	90.92	62.72		
	計画	85.00					85.00				
廃プラスチック類	現状	122.71					122.71	111.58	119.31		
	計画	110.00					110.00				
金属くず	現状	50.77					50.77	47.46	50.77		
	計画	46.00					46.00				
紙くず	現状	59.55					59.55	57.66	59.55		
	計画	54.00					54.00				
木くず	現状	227.04					227.04	158.40	227.04		
	計画	204.00					204.00				
繊維くず	現状	0.36					0.36	0.36	0.36		
	計画	0.30					0.30				
廃石膏ボード	現状	62.01					62.01	61.02	54.52		
	計画	56.00					56.00				
安定型混合廃棄物	現状	4.91					4.91	4.91	4.82		
	計画	4.40					4.40				
管理型混合廃棄物	現状	39.80					39.80	39.80	38.31		
	計画	36.00					36.00				
石綿含有廃棄物(ガラス陶磁器)	現状	11.62					11.62	4.62	0.00		
	計画	10.00					10.00				
石綿含有廃棄物(廃石膏ボード)	現状	0.00					0.00	0.00	0.00		
	計画	0.00					0.00				
石綿含有廃棄物(廃プラスチック類)	現状	0.00					0.00	0.00	0.00		
	計画	0.00					0.00				
水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)	現状	1.06					1.06	1.06	1.06		
	計画	0.90					0.90				
合 計	現状	1,070.43					1,070.43	660.22	1,005.30		
	計画	963.60					963.60				